子育てかわら版

所沢市立宮前小学校
令和５年度
No.13

子供の行動を変えるために～「叱る」or「叱らない」

言うことを聞かない子供の行動を変えるには、どうすればよいのでしょうか。
「強く叱って子供を動かす」→「やらされている」と感じ、無力感を持つ
◎行動を変えてほしい理由を落ち着いて伝える

1　「叱る」ことで子供を動かしていると…　**負のスパイラル**

宿題をしない → 宿題をする

- 自発的な行動ではない
- やらされている

宿題に対して強い拒絶感

叱られることに慣れる

叱る

宿題をさせたい

- 子供のためになるという思い込み
- 子供が変わったという思い込み
- また次も「叱る」
- 「叱る」こと有効であると思い込む

- もっと強く叱る
- 手が出る

忘れ物をする

- 「忘れ物は悪」という意識を刷り込んでしまう
- 「忘れ物をした自分がいけない」自分を責める
  →自己肯定感を低下させる

叱る

どうして忘れ物をするの
絶対に忘れ物しないように！

＜重要なことは＞
忘れ物をしたときどうするか
忘れない仕組みをどう作っていくか
忘れ物は誰だってしてしまうもの

2　子供は自分をコントロールする力を持っている…　**諭す**

あなたは自分の行動を自分の力で変化させる力を持っているのだから、今、あなたがしている行動を変えてほしい。

3　子供が言うことを聞きたくなる伝え方

□ 強い口調で伝えていませんか？
　→穏やかな口調で話してみましょう
□ 子供が集中しているときに声掛けしていませんか？
　→「ちょっとだけ話を聞いてほしいんだけど…」
□ 具体的な言葉を使っていますか？
　→「８時になったから、お風呂の時間だよ！」